



菊池 巳喜男 議員  
(遠野令和会)

一括質問方式

# これからの遠野市の創造・創生をどう捉えるか

市長 「「こころ」の世界を見出しついでに」が必要ではないか

問 ……  
これからの遠野市が進むべき方向について、どのように捉えているか。

答 (市長) ……  
これからの遠野市を考えてみるに、しっかりとした構想を持ち、総合計画を立て、実施計画の中で、健全財政計画と整合性を図りながら、スピードとタイミングを見極めることが必要である。このこ

とは、市民のニーズにどう応えていくのかにつながるのではないかと思います。

また、これからの遠野について、世界的建築家の安藤忠雄先生から「過去を学び、今を考え、未来を創造する」と言うメッセージを頂いている。これを、市民としっかりと共有しながら、「こころ」の世界が残っているこの遠野で、思いやり、やさしさというものが、共生社会の実現に結びつ



安藤先生が建築したこども本の森遠野

いていくのではないかと。

問 ……  
児童生徒のワクチン接種はどのようにしているのか。

答 (教育長) ……  
遠野市では8月12日から、12歳以上の方の予約が開始されている。小・中学生のワク

# 子どものコロナウイルス感染症予防対策は

教育長 教職員のワクチン接種を実施、児童生徒の予約も開始

チン接種は、本人の希望と保護者の同意が必要。接種者把握することは、個人情報保護の観点やワクチン接種実施の趣旨にそぐわないことと認識している。調査等は現在実施していない。

問 ……  
オンライン授業の活用は。

答 (教育長) ……  
非常時にあっても児童生徒の学びを止めないよう取り組むことが重要である。GIGAスクール構想により一人一台端末が整備されているが、家庭でのオンライン学習環境は十分整備されていない環境である。



問 ……  
小中学校ではデジタル教科書の配布を来年度に拡大する情報があるが。

答 (教育長) ……  
現在、市内小学校5校、中学校2校に1教科分の学習者用デジタル教科書を導入している。導入については、視覚・聴覚的情報を組み合わせた学習により「言語能力の育成が図られる」、多様な観点での「情報活用能力の育成」等の指摘が成されている。

# 消防指令業務の共同運用

市長 「市民サービスの向上が一番の理由

問 ……  
地震や豪雨などの自然災害、大規模火災、多数の傷病者が発生する大きな事故などから、市民の生命と財産を守らなければならない。

令和8年度から、消防の指令業務を共同で運用しようとする報告があった。期待するものはなにか。

答 (市長) ……  
多様化する救急事案等に対し、適切に対応できる環境を構築しなければならない。

令和2年10月現在、全国で47の団体が指令業務を共同運用している。総務省が実施したアンケートの結果から、住民サービス・人員配置・財政における効果が見取れる。今後、人的・財政的な資源が限られてくることと予測される。将来の円滑な消防活動には必要な方策である。

問 ……  
進行が遅れが生じている理由は。

答 (市長) ……

計画策定時に比べ「枠組みの再検討」「消防救急デジタル無線更新による大幅な予算増額」など、状況が大きく変化した。再度、各消防本部間の意見交換や資料整理に時間を費やしたことで、スケジュールに遅れが生じた。

※1. 消防指令業務とは  
火災・救急・事故等の119番の受付から、消防隊・救急隊等への出場指令を行うもの。

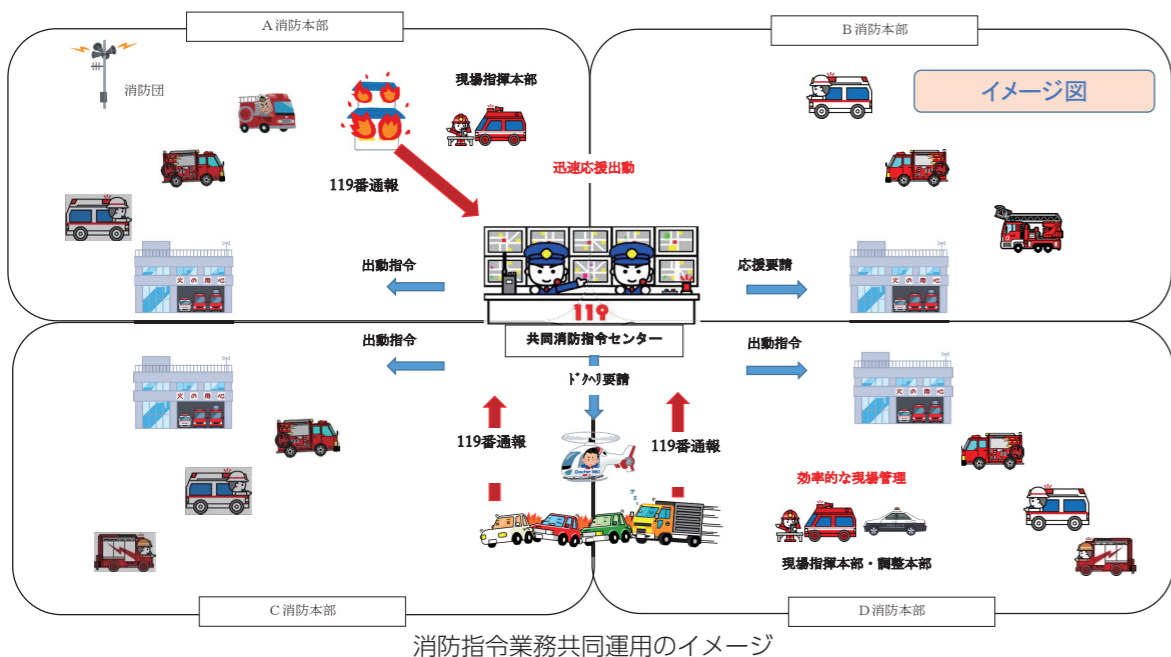
※2. 共同運用とは  
現在各消防本部で行っている消防指令業務を「岩手県消防指令センター(仮称)」において一括で行うこと。

問 ……  
消防の体制も、人口減少や高齢化などの社会構造の変化に対応しなければならぬ。指令業務共同運用のさらには先を見据えた消防の広域化について考えを伺う。

答 (市長) ……  
各消防本部間の指令系統が一元化することによって、消防の広域化が進んでいくものと考えられる。将来を見据えると、

# 消防の広域化

市長 遠野がリーダーシップをとる



その枠組みは県域の全ての消防本部を対象とするべきである。人口減少が現実視される中、消防を広域化し、県民サービスを維持していかなければならない。